

## 『私たちの自己紹介』

### 宇都宮ワイズメンズクラブ

Q：クラブの目的はなんですか？

A：私たち宇都宮ワイズメンズクラブの目的は、定款の前文にあるように、国籍、世代、性別、宗教等の違いを乗り越えて多様性を認め合い、YMCA および広く地域社会に貢献することです。相互の絆を深めるために月1回の例会などで親睦を深めています。



Q：YMCA とはどのようなものですか？

A：YMCA (Young Men's Christian Association) は、1844年英国に生まれ、現在は世界119か国・地域に約5,800万人の会員を有する世界最古最大のNGO団体です。青少年・指導者育成、生涯学習の普及、国際理解・協力の推進、災害支援ボランティア活動などの事業を国内外各地で展開しています。バスケットボールやバレーボールを開発し、世界に普及させ、キャンプ、ボウリング、スクーバダイビングなどを日本に広めたのもYMCAです。大河ドラマ「いだてん」は東京オリンピックを実現させた実在する人物達の物語です。その中でYMCAが頻繁に紹介されています。日本初のオリンピック監督の大森兵蔵がアメリカで体育を学んだのもYMCAです。



Q：会員にはどのような義務がありますか？

A：会員は月1回の例会に参加すること、クラブが企画する奉仕活動に参加すること、年会費を収めることなどがあります。上記3点が義務となっていますが、会費以外は、ご自身の都合を優先いただき、無理のないクラブ活動を勧めています。

Q：どのような人たち（職業・年齢など）が集まっていますか？

A：総勢32名で、一番若くて30才、最高齢で86才となっており幅広い年齢層で他のクラブに比べてバランスの良い構成だと思えます。職業も、すでにリタイアされている方が多いですが、自動車メーカーのエンジニア、旅行会社の経営者、医師、獣医師、県会/市議員などこちらも多彩な方が集まっています。



Q：奉仕活動はどのようなことをしていますか？

A：支援先のとちぎYMCAのさくらんぼ幼稚園のバザーでは、開始から実行委員長をクラブから出しています。とちぎYMCAが主催の障がいのある子どもたちを支援するためのイベント「インターナショナル・チャリティーラン」の共催をして、参加者たちに焼きそばを提供しています。特別養護老人ホームの入居者の方とお花見を楽しむ奉仕を行っています。昨年度からメンバーの実家の敷地を



キャンプ場に整備する奉仕活動を開始しました。長丁場になる活動だと思っています。当クラブの特徴として、若者たちと一緒に交流しながら奉仕活動が行うことが多いことです。若者たちは私たち大人と交流することで知己を得ますが、同様に私たちも若者たちから多くの示唆を受けることがあります。

Q：年間どれぐらいのお金が掛るのですか？

A：年会費は5万円で、7月と1月に半分ずつお支払いいただいています。例会はその都度、5千円程度お支払いいただいています。

Q：集めたお金はどのように使われますか？

A：上記の奉仕活動の原資とする他に、その一部を東北、北関東11クラブが集まり活動する北東部に収めています。さらに、61クラブが集まり活動している東日本区と、その先の国際協会に収めていて、大きな単位での奉仕活動の実施に使用されます。

また、国際協会では用途別の寄付を集めており、年会費はその一部にも充てられます。

Q：年間を通じてどのような行事がありますか？

A：月に1回の例会、例会はゲストスピーカーによる卓話や、音楽の演奏など、また季節に合わせて8月のBBQ、12月のクリスマス、1月の落語など楽しい内容がクラブ会長の企画で行われます。

9月には北東部の集まりの北東部大会、6月には東日本区大会が開催されます。

7～8月には、国際的な大会が世界各地で開催されます。

6月チャリティーラン、11月さくらんぼバザー、3月～10月随時にキャン場整備など盛り沢山ですが、私たちのクラブの特徴は無理せず楽しく参加することとしています。



Q：私はクリスチャンではないのですが、構わないのですか？

A：まったく問題ありません。メンバーの大半はクリスチャンではありません。例会では聖書の一節を読んでいます。宗教に関係なく一つの指針と考えています。

Q：クラブに入って楽しいことはなんですか？

A：仕事を離れ、若者を含んだ多様な人たちと同じ目的を持って活動することが、一番の楽しみです。クラブの中の交流から多くのことを学ぶことも楽しいです。

私たち宇都宮ワイズメンズクラブの一員となってクラブライフを楽しみませんか？

